

令和6年度 第3回 高知支部評議会

令和7年度 支部保険者機能 強化予算（案）について

令和7年1月16日

支部保険者機能強化予算の概要

≪予算体系≫

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

- i) 事業の性質に応じて、支部の予算申請や本部審査の重点化・簡素化を行い、令和6年度より事務の効率化が図られた。
 - ・多くの支部が既に実施している定型的な業務のほか、行政や医療関係団体と連携した事業であって、かつ継続した事業については、今後も一定の効果が期待できると判断し、「**定型的事業**」として予算審査を簡略化する。
 - ・通常枠予算のうち、支部の課題等に対応した事業であって、定型的事業に該当しない事業を **課題解決型事業** とする。
- ii) 保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常予算に追加して予算措置を行う「**特別枠**」制度が令和6年度より新たに創設。
 - ・「現状評価・課題・重点施策シート」の作成やこれまでの取組等を通じて洗い出された課題など、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする。

[審査する際の基準]

- ・効果的な事業に繋げるため、地域別、年代別、薬剤別等に細分化した分析、医療費・健診データ等の分析を通じて、ターゲットの絞り込みや、課題を生じさせている背景（要因）の考察等を十分に行ったうえで効果的な事業となるよう計画を立てているか。また、効果検証の方法について、具体的かつ定量的な計画となっているか。
- ・保健事業については、計画段階から支部保健師と十分な議論を行うなど、保健師が有する専門性を十分に活用した計画となっているか。

令和7年度 支部医療費適正化等予算 整理表

分野	区分	取組名	事業内容	経費
医療費適正化 対策経費	(継続)	お薬手帳ファイルの配布	2. お薬手帳・多剤	1,870千円
	(継続)	若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発	1. 適正受診	880千円
	医療費適正化対策経費 計			2,750千円
広報・意見 発信経費	(定型)	納入告知書同封チラシ		1,721千円
	(定型)	任継制度説明リーフレットの作成		265千円
	(定型)	第三者行為による傷病届提出への啓発ポスターの作成		110千円
	(継続)	ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報	3. ジェネリック	1,924千円
	(継続)	上手な医療のかかり方に関する啓発	6. 複合	1,854千円
	(継続)	経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進 広報	4. インセンティブ	520千円
	広報・意見発信経費 計			6,394千円
合計				9,144千円
予算枠				9,145千円

令和7年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
健診経費	—	健診機関による事業者健診データ提供に係る新規委任状取得の委託費	委任状取得費（健診機関）	44千円
	—	健診機関及び事業主へ事業者健診データの作成に要する費用（システム払いができない分）の支払い	データ作成等経費（健診機関・事業主）	39千円
	継続	（事業者健診の結果データの取得） 事業者健診データ提供依頼書及びデータ取得の外注	外部委託勧奨	6,974千円
	継続	（集団健診） 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	大型施設等（被扶養者）	3,101千円
	継続	（健診受診勧奨） 令和8年度健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	パンフレット作成	1,214千円
	継続	（健診受診勧奨） 圧着リーフレット等を用いた特定健診の受診勧奨	被扶養者勧奨	1,279千円
				健診経費計

令和7年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
保健指導 経費	—	中間評価時の血液検査費	—	1,650千円
	—	医師謝金	—	26千円
	—	保健指導用パンフレット作成等経費	—	250千円
	—	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	—	170千円
	—	保健指導用図書購入費	—	100千円
	—	公民館等における特定保健指導	—	30千円
	保健指導経費 計			
重症化予防 事業経費	継続	(未治療者受診勧奨) 生活習慣病未治療者に対する受診勧奨業務	二次勧奨	3,722千円
	継続	(未治療者受診勧奨) 生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者 への受診勧奨	0次勧奨	3,346千円
	—	(重症化予防対策) 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	プログラム	13千円
	重症化予防事業経費 計			

令和7年度 支部保健事業予算計画 整理表

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
コラボヘルス事業経費	新規	(コラボヘルス事業) 健康経営にかかる事業所への情報提供	フォローアップ	1,540千円
	継続	(コラボヘルス事業) 「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成	広報物作成 (コラボ)	160千円
	継続	(コラボヘルス事業) オンライン健康講座の開催	フォローアップ	1,500千円
			コラボヘルス事業経費 計	3,200千円
その他の経費	継続	(その他の保健事業) 健康づくりに関するメルマガ等による情報発信	広報関係	180千円
	継続	(その他の保健事業) 各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報	広報関係	979千円
	新規	(その他の保健事業) こども健康教育用教材のデータ編集	広報関係	61千円
	—	保健事業実施計画アドバイザー	保健事業実施計画アドバイザー	98千円
			その他の経費 計	1,318千円
合計				26,476千円
予算枠				26,476千円

【特別枠】

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
特別枠	新規	健康づくり意識及び協会けんぽ認知度の向上に向けた取り組み	協会けんぽが行っている加入者の健康づくりに資する保健事業と、協会けんぽの名称をセットで周知	6,550千円
合計				6,550千円
予算枠				6,550千円

【最重点広報】

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
最重点広報	新規	健診体系の見直し	令和8年度の健診体系の見直しに向けた広報	1,575千円
合計				1,575千円
予算枠				1,596千円

令和7年度 オプション健診(骨・歯・眼底)に係る実施計画
令和7年度支部健診推進経費・保健指導推進経費

【オプション健診】

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
オプション健診	新規	オプション健診（眼底検査）	集団健診のオプション健診（眼底検査）を実施し、集団健診（特定健診）の集客を図る	278千円
合計				278千円

【健診推進経費・保健指導推進経費】

分野	区分	取組名、予算名	事業内容	経費
推進経費	継続	健診推進経費	健診機関等の健診目標値達成に対する報奨金	1,395千円
推進経費	継続	保健指導推進経費	特定保健実施機関における特定保健指導の実績に対する報奨金	714千円
合計				2,109千円

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 お薬手帳ファイルの配付	予算額	R6年度	1,617 千円
			R7年度	1,870 千円
事業の概要	<p>「ジェネリックま（高知支部イメージキャラクター）」を用いたお薬手帳ファイルを作成し、調剤薬局を通じて加入者に配付することで、ジェネリック医薬品の啓発や使用促進を図る。なお、ジェネリックまを活用した取り組みを継続することによって、ジェネリック医薬品 = ジェネリックまといったイメージの浸透を目指す。</p> <p>なお、今年度も関係団体と協同で事業を行う予定である。（令和6年度は県薬剤師会との連名で実施）</p>	期待・効果	<p>ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がるだけでなく、お薬手帳を使用することで、医薬品の相互作用や重複服用等を解消し、医療費の抑制、並びにポリファーマシーの防止が期待できる。</p> <p>また、マイナ保険証使用時にも協会けんぽの認知度を高める効果が期待できる。</p>	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、10,000個を作成。 ・高知県薬剤師会に協力依頼をおこない、令和7年1月以降に県内各所の保険調剤薬局経由で加入者へ配布予定。 ・調剤薬局に配付準備を行っている。薬局へのアンケートの結果からは概ね患者にも好評とのことで、今後も加入者の利用が期待できる。 <p>【効果検証方法】</p> <p>健康保険委員向けアンケート（広告の認知度）、ジェネリック医薬品使用割合</p>			

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 若年層のいる家庭に対する医療費適正化啓発	予算額	R6年度	1,100 <small>千円</small>	
			R7年度	880 <small>千円</small>	
事業の概要	自治体と連携して子供を持つ家庭に対し、ジェネリック医薬品や医療費に関する内容を含む総合的なパンフレットを配布する。このことにより、ジェネリック医薬品の啓発や使用促進等を通じて医療費適正化に繋げる。なお、令和6年度も自治体や関係団体と協同で事業を進めている。（令和5～6年度は高知市と県薬剤師会との連名で実施）	期待・効果	若年層のいる家庭にジェネリック医薬品を認知してもらい、その安全性への理解を図ることで、ジェネリック医薬品使用割合の向上に繋がる等、ヘルスリテラシーを高めることによる医療費の適正化が期待できる。		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知支部のジェネリック医薬品使用率は81.1%（令和6年7月診療分）になったが、全国平均84.8%と比較すると低い傾向にある。中でも若年層の使用割合は、全国平均と比較すると5%以上低い。 ・未就学児童や就学後の児童は、公費との併用により自己負担が発生しないことが多く、医療費への関心が薄い。 <p>【効果検証方法】 ジェネリック医薬品使用割合</p>				

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報	予算額	R6年度	2,990 千円
			R7年度	1,924 千円
事業の概要	テレビ、ラジオやWebなど、あらゆるメディアを活用した広報を行うことで、幅広い年齢層にジェネリック医薬品の正しい知識の啓発を行い、使用促進を図る。なお、広報事業に関しては一定の継続性が必要であると考えため、令和6年度の事業内容をベースにして検討・運用を行う予定。	期待・効果	加入者を含む県民にジェネリック医薬品の安全性を理解してもらうことで、ジェネリック医薬品使用割合の向上が期待できる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】</p> <p>令和5年度からWebやテレビCM等マルチメディアを用いた広報を実施しており、同年、下期から使用割合が徐々に上昇し、令和6年4月診療分にて目標であったジェネリック医薬品の使用割合80%超を達成した。</p> <p>一定の効果があつたと見受けられることから、今後も安定的に80%を超えるよう、引き続き加入者へ継続した働きかけを実施していく。</p> <p>【効果検証方法】</p> <p>健康保険委員向けアンケート（広告の認知度）、ジェネリック医薬品使用割合</p>			

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 上手な医療のかかり方に関する啓発		予算額	R6年度	1,254 千円
				R7年度	1,854 千円
事業の概要	<p>早期受診・早期治療、かかりつけ医の活用など「上手な医療のかかり方」について、マスメディアを使用した周知広報により、加入者を含む県民に対し、知識の啓発をおこなう。</p>	期待・効果	<p>加入者を含む県民に「上手な医療のかかり方」を理解してもらうことで、医療費の適正化に繋がる。</p>		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】 高知支部では入院の一人当たり医療費が、全国平均を大きく上回っている。また、要治療者の医療機関受診率も低い。そのため、早期受診・早期治療、かかりつけ医の活用など「上手な医療のかかり方」について、マスメディアを使用した周知広報により、加入者を含む県民に対し、知識の啓発をおこなっていく必要がある。</p> <p>【効果検証方法】 健康保険委員向けアンケート（広告の認知度）</p>				

具体的な実施計画 ～医療費適正化～

課題解決型

事業名	【継続】 経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進広報		予算額	R6年度	247 <small>千円</small>
				R7年度	520 <small>千円</small>
事業の概要	事業主が目にする経済団体の会報誌などに作成したチラシを同封する。	期待・効果	健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標（5項目）の今後の取り組み強化に繋げる。		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】 インセンティブ制度に係る令和5年度の実績データにおいて、高知支部は全国47位と低迷していることから、加入者に幅広く広報をおこない、各評価指標（5項目）の取り組み強化に繋げる必要がある。</p> <p>【効果検証方法】 インセンティブの全国順位</p>				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 事業者健診データ提供依頼書及びデータ取得の外注	予算額	R6年度	6,584 千円
			R7年度	6,974 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> データ取得実績のある業者に勧奨を委託し、取得率向上を図る。 勧奨対象事業所：520事業所 約16,000人 	期待・効果	事業者健診データ取得件数（取得率）の向上、ひいてはインセンティブの指標である特定健診等の受診率の向上。データ取得者に対する保健指導案内による保健指導実施率の向上。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none"> 勧奨事業所対象 536事業所、14,851名分 R6年12月末時点、提供依頼書 52事業所、健診データ 2,210件を取得済み。 ※健診データ取得は想定の5,000件を達成の見込みであり、委託業者による取得は効果的であることからR7年度も継続する。			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	予算額	R6年度	3,226 千円
			R7年度	3,101 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年度後半（10月）から年度末にかけ、高知県内各地で未受診者を対象とした特定健診とがん検診の同時実施を開催し、特定健診の受診率向上を図る。 ・高知県内に居住する未受診者を対象とし、特定健診と各種がん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施。 ・健診内容を充実させ、受診者に魅力を感じてもらうことで受診率向上を図る。 ・高知市中心部では、集客が見込めるショッピングモール等において、それ以外の地区では地域の保健福祉センターを活用するなど、地域住民が受診しやすい環境で実施予定。 	期待・効果	がん検診との同時実施による健診の利便性及び年末・年度末最後の未受診者対策により、特定健診の受診率が向上。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年12月まで実施したイオンモール、東部地区での集団健診（3会場6日程）では、特定健診：460人、保健指導：39人実施済み。 ・令和7年1～3月には、南国地区、高知市総合あんしんセンター、セリーズ、幡多地区等（10会場14日程）において特定健診とがん検診の同時実施により受診者増を図る。 <p>※がん検診との同時実施による健診の利便性及び年度末最後の未受診者対策により、特定健診の受診率向上が見込めるため、令和7年度も継続して実施する予定。</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 圧着リーフレット等を用いた特定健診の受診勧奨		予算額	
			R6年度	826 千円
			R7年度	1,279 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・圧着リーフレットを使用して、特定健診の受診勧奨を行い、受診率向上を図る。 ・未受診者への受診勧奨を圧着ハガキで行い、特定健診の受診率向上を図る。 ・リーフレットの内容は、特定健診の受診の流れ、健診の概要、市町村の集団健診の日程を周知して受診につなげる。 ・委託業者には、対象者データを提供の上、圧着ハガキの作成、発送先の住所、氏名の記載および発送までを委託する。（年度内2回の発送を予定。1回目：集団健診案内。2回目：健診実施機関での受診を周知） 	期待・効果	特定健診受診率の向上	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年1月17日 圧着ハガキ 13,200通を発送予定。 <p>※令和5年度に実施した事業では、送付対象者のうち約17%が受診しており、一定の効果があると考えられる。</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 生活習慣病未治療者に対する受診勧奨業務	予算額	R6年度	3,152 千円
			R7年度	3,722 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧・血糖・脂質検査において要治療と判定されながら医療機関を受診していない者に対し、医療機関への受診勧奨を行う。 ＜委託内容＞ ・対象者への受診勧奨文書及び送付用封筒の作成、封入封緘、発送業務。 ＜勧奨手順＞ ①本部勧奨翌月に支部で対象者を選定し、委託機関にデータ送付 ②委託機関にて、受診が必要な検査項目をわかりやすく表示した勧奨文書に「受診状況のおたずね」、「返信用封筒」を同封し送付。1週間以内の返信を依頼する。回答書は支部あてとする。 <p>文書勧奨対象：5,500人</p>	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none"> ・年間予定件数（文書勧奨5,000件・電話勧奨150件）のうち、令和6年11月までに文書勧奨3,351人、電話勧奨9件を実施（7月～11月） ⇒ 文書勧奨に対する返信依頼を実施し、7月～10月に委託した委託分の3,037人分からは、409人が返信（返信率13.5%） <p>※令和7年度では、文書勧奨に絞って実施する予定。</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	予算額	R6年度	1,620 千円
			R7年度	13 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則って実施。治療中でコントロール不良者などに医療機関と連携した重症化予防事業を行う。 ・高知県では、令和7年度にプログラム改定に関するワーキンググループを立ち上げる予定。 ・プログラム改定にあたっては、高知県や他保険者とも協議し、委託業者が参入しやすくなるよう、仕様変更について意見発信していく。 	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、外部委託にて医療機関と情報共有しながら必要な生活指導を実施する予定であったが、応募する事業者がなく、未執行になる見込み。 (本事業の予算については、「生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者への受診勧奨」の事業に流用予定) 			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 生活習慣病予防健診結果における高血圧・高血糖者への受診勧奨	予算額	R6年度	2,013 千円
			R7年度	3,346 千円
事業の概要	<p>健診当日、生活習慣病予防健診実施機関から、高血圧・高血糖者に対して医療機関受診を勧める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託機関：生活習慣病予防健診実施機関のうち受託を希望する機関 ・勧奨実施者：医師、看護師、保健師 ・勧奨方法：対面にて、勧奨資材を用いて5分以上の受診勧奨をする ・効果判定：勧奨後の受診状況をレセプトで確認する ・対象者：2,000人 ・費用：1件当たり1,500円（税抜） 	期待・効果	生活習慣病の重症化を防ぎ、医療費の適正化に繋がる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は高血圧・高血糖の未治療者を受診勧奨対象とし、11機関と契約。 ・11月末現在、1,082人に対し受診勧奨を実施 ・年度当初に予定していた勧奨上限件数（上限1,200人）を超過する見込みのため、他予算から流用し、上限件数を1,906人に増やして対応中。 <p>※健診当日の受診勧奨は、医療機関への受診に結び付きやすいと考えられ、次年度も勧奨対象の上限件数を増やす予定。</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

事業名	新規 健康経営にかかる事業所への情報提供	予算額	R6年度	— 千円
			R7年度	1,540 千円
事業の概要	<p>健康経営優良法人の認定を受けた事業所の取り組みを中心に、事例集を作成して配付する。</p> <p>また「高知家」健康企業宣言をされた事業所に対しては、より詳しく健康経営について知っていただくための資料をあわせて配付する。</p>	期待・効果	<p>健康経営の好事例を纏めて配付することで、健康経営に取り組む事業所が増加する。また、すでに取り組んでいる事業所においては、健康経営の質の向上に繋がる。</p>	
背景や効果検証方法	<p>【背景】 「高知家」健康企業宣言を始めた事業所において、どのような取り組みをすればいいのかという悩みを抱えた事業所が意外に多い。そのため、健康経営優良法人認定を受けた事業所などの取り組みの横展開を事例集を通して図る必要がある。</p> <p>【効果検証方法】 健康宣言事業所数、健康経営優良法人認定事業所数</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 「高知家」健康企業宣言パンフレットの作成	予算額	R6年度	160 千円
			R7年度	160 千円
事業の概要	健康企業宣言を行っていない事業所に使用するため、健康経営を理解しやすいパンフレットを作成・活用して健康宣言事業所数の増加を目指す。	期待・効果	事業所カルテ送付時に健康宣言事業の周知広報を行うほか、関係団体を通じて、より多くの加入事業所へ健康宣言事業を周知することにより、宣言事業所数の拡大に繋がる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】 現在784社（令和6年11月末時点）が健康宣言を行っているが、より多くの事業所が健康経営に興味関心を持ち、取り組みを進めていただく必要がある。</p> <p>【効果検証方法】 健康宣言事業所数</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 オンライン健康講座の開催	予算額	R6年度	1,865 千円
			R7年度	1,500 千円
事業の概要	健康宣言事業所を対象に食事や運動、喫煙、飲酒など講座を提供し、事業所が自らの課題に適した講座を選定して、Web会議アプリ「Zoom」を使用したオンライン講座を実施する。	期待・効果	事業所が自らの健康課題に合わせた講座を実施することで、より具体的な取り組みを実施することができ、健康経営の質の向上および加入者の健康意識向上に繋がる。	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康宣言事業所へのフォローアップとして実施している。個別学習：14事業所、全体学習：48事業所（R6.12末現在） 個別学習については、事業所カルテや問診票で洗い出された事業所の健康課題を解決するため、支部保健師等が事業所担当者にヒアリングし、事業所の課題に適した講座の候補を選定している。 <p>【効果検証方法】</p> <p>実施回数、実施後アンケート、健康宣言事業所数</p>			

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	【継続】 健康づくりに関するメルマガ等による情報発信		予算額	R6年度	180 千円
				R7年度	180 千円
事業の概要	メルマガジンの登録者に疾病予防や健康増進などの情報提供をおこなう。	期待・効果	加入者の疾病予防や健康増進に対する意識向上が期待できる。		
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<p>【背景】 協会けんぽのタイムリーな情報や医療関係者による医療・健康に関するコラムの配信をおこない、加入者の健康意識向上を図っていく。</p> <p>【効果検証方法】 メルマガジンの登録者数、メルマガジン内で出題するクイズの回答数やご意見</p>				

具体的な実施計画 ～保健事業～

課題解決型

事業名	<p>【継続】 各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報</p>	予算額	R6年度	451 千円
			R7年度	979 千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高知支部では代謝リスク保有割合が全国と比較して男女とも突出して高く、県内全域でリスクが高い状態にある。 ・令和5年度から実施している糖尿病発症予防に関する特設サイトを継続運用し、SNSやメルマガ等の各種メディアから誘導して糖尿病発症予防に向けた啓発を行う。 	期待・効果	<p>20歳から体重が10kg以上増加した場合に、そうでない人に比べて、2.2倍糖尿病を発症しているなどの研究報告を前提とした広報を展開し、加入者に体重増加の予防について意識づけすることで、代謝リスクの軽減などを期待できる。</p>	
実施状況やその効果検証結果と継続理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より実施している糖尿病発症予防の広報では、県との連名で作成したポスターやSNS、メルマガ、HP等の各種メディアを活用して広報を展開。 ・令和6年度は継続して特設サイトでの周知を図っており、コラムの更新等を実施。 <p>※令和7年度も継続して実施することで、糖尿病発症に関する認識を広め、生活習慣の見直しにより代謝リスクの抑制を図る。</p>			

具体的な実施計画 ～特別枠～

事業名	新規 健康づくり意識及び協会けんぽ認知度の向上に向けた取り組み	予算額	R6年度	— 千円
			R7年度	6,550 千円
事業の概要	協会けんぽが行っている加入者の健康づくりに資する保健事業と、協会けんぽの名称をセットで周知する。特に、協会けんぽの名称もこれまで以上に大きくアピールする内容の広報媒体（動画、チラシ）を作成する。信頼度の向上のため公共性の高い、TV・新聞をメインの広報媒体として広報を実施する。	期待・効果	協会けんぽの認知向上に伴う信頼性の高まりにより、保健事業を始めとした高知支部のすべての事業が行いやすくなる効果が期待できる。	
背景や効果検証方法	<p>【背景】 保健指導実施率の低い事業所等へ訪問し、保健指導受け入れなどを依頼するも、協会けんぽ自体の認知度が低く、協会けんぽの行っている業務から説明をする必要があり保健指導の受け入れまでに至らないことが多々ある。また、加入者や事業所への新規受け入れ時に説明していた「保険証を発行している会社」というワードもなくなることから、早急に協会けんぽを企業ブランディングしていく必要がある。</p> <p>【検証方法】 市場調査でブランド認知度を計測する。</p>			

具体的な実施計画 ～最重点広報～

事業名	<div style="background-color: #f08080; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div> 健診体系の見直し		予算額	R6年度	— 千円
				R7年度	1,575 千円
事業の概要	・令和8年度に予定されている「健診体系の見直し」について、チラシやポスター等の配布物、ホームページ、LINE等のSNS、新聞広告等の各種媒体により周知・広報を行う。	期待・効果	・加入者のより一層の健康増進を進め、健診・保健指導実施率の向上。 ・就労等により生活習慣が変化する20代から健康意識の醸成を図ることで、将来的な疾病予防の取組を推進する。		
背景や効果検証方法	【背景】 協会が最も周知に力を入れる広報テーマを「最重点広報テーマ」と位置づけ、全支部にて同じテーマで広報を実施する。今年度は「健診体系の見直し」とし、令和8年度より健診体系の見直しを行うこととしていることから、その3ヶ月前である令和8年1月より積極的に周知・広報を行う。				